

研究課題名：長崎原爆被災直後の原子爆弾災害調査の再解析

1. 研究の対象

1945年10～11月に旧長崎医科大学が長崎原爆被災地で行った原子爆弾災害調査にご協力いただいた方が対象です。原爆被爆時の居所、周囲の状況と共に被爆により発現した症状、受療状況などについて、調査票に基づき聞き取り調査が実施されました。対象者は、被爆時の年齢が1歳から86歳で爆心からの距離が4km未満で被爆された約5,853人です。ご自宅、学校、工場等へ調査員が訪問してご協力いただきました。

2. 研究目的・方法

原爆直後に実施された原子爆弾災害調査に医師、医学生により収集された放射線による症状発現や治療方法に関するデータを最新の解析手法を用いて再解析を行い新たな知見が得られないかを調べます。爆心からの距離や遮蔽の状況から推定できる放射線被曝線量と症状発現との関連や症状の合併についての解析を行うことを主な目的としています。

3. 研究期間

所長許可日（2022年11月10日）～2024年3月31日

研究利用の拒否に関してのご連絡は勝手ながら2022年2月10日（許可日から3か月後）までとさせていただきます。これ以降は再解析に着手いたしますので除外することができなくなります。

4. 研究に用いる情報の種類

調査票に記載された性別、年齢、被爆時にいた場所、遮蔽の状況、原爆による外傷、熱傷のほか、被災後に発現した症状、受療状況に関する情報を使用します。研究成果として発表する内容には個人を特定できる情報は含みません。

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて調査回答者もしくは回答者のご遺族にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者

氏名 横田賢一（長崎原爆後障害医療研究所 原研情報室 助教）

住所 長崎市坂本1丁目12番4号

電話 095-819-7127 E-mail: sdr@ml.nagasaki-u.ac.jp

以上